

宇土市報道資料

－お問い合わせ－

まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



令和7年8月1日

地域の「奇跡」を紡ぐ一冊――

網田在住・梅田千津子さんが、地域活動の軌跡を綴った書籍

『1000の奇跡へ 歌い続ける音楽驛』を8月5日に出版

著書 『1000の奇跡へ 歌い続ける音楽驛』

発刊者 梅田 千津子

料金 1冊/1,000円（通販ではAmazonで販売）

このたび、網田地域在住の梅田千津子さんが、地域での音楽活動や交流を通して生まれた「奇跡」の数々を描いた著書『1000の奇跡へ 歌い続ける音楽驛』を2025年8月5日に出版されます。また、出版を記念して8月11日（月）14:30より、網田レトロ館にて出版記念イベントも開催されます。

本書は、熊本地震後に熊本市から網田へ移住された梅田さんが、音楽を通じて地域の人々と繋がり、困難を乗り越えてきた軌跡を綴った一冊です。特に、JR九州の特急「A列車で行こう」が長年停車しなかった網田駅で、念願の「10分間停車」が実現したことをきっかけに始まったミュージックステーション（おもてなしライブ）や、地元住民とともに続けてきたバンド活動、そして現在は「A列車で行こう」の停車時間が24分まで延長されたことなど、駅を舞台に生まれた人々の歩みと成長、地域の温かなつながりを描いています。

「笑顔は笑顔を、やさしさはやさしさを、奇跡は奇跡を呼ぶ」——
人口減少や交通インフラの維持など、地方が抱える課題にも前向きに向き合いながら、地域の未来を切り拓くヒントが詰まった一冊です。

【「1000 の奇跡」への想い】

本書のタイトル『1000 の奇跡へ』には、深い意味が込められています。三角線鉄道の存続は、1日の乗車人数（輸送密度）が1,000人以下の場合、廃線の対象とされるという現実があります。現在の輸送密度は1日あたり約800人。だからこそ「1,000の軌跡（奇跡）を起こしたい」という強い願いと、地域の未来を守るための希望が本書には詰まっています。

【出版記念イベントのご案内】

日時：2025年8月11日（月・祝） 14:30～

会場：網田レトロ館（網田駅舎内）

※どなたでもご参加いただけます。ぜひ取材・ご来場ください。

【著者プロフィール】

梅田千津子（うめだ ちづこ）

2016年、熊本市より網田へ移住。音楽バンド「ノサンオールスターズ」や「網田オールスターズ」を中心に、地域住民やカフェスタッフとともに音楽活動やコミュニティづくりに尽力。地元の活性化と心の交流を重視した活動を続けている。

